

仙台市の誘致活動の状況

平成23年

- 5月17日 日本政府による国連防災世界会議の日本への誘致表明にあわせ、市長記者会見において、2015年の国連防災世界会議の仙台・東北への誘致を表明。
- 5月18日 内閣府などの政府機関を訪問し、国連防災世界会議をはじめとする複数のコンベンションの仙台・東北への誘致活動を実施。
- 5月20日 東北市長会において、市長から各市長へ誘致活動への協力を呼びかけ。
- 8月2日 「APEC民間部門における緊急事態の備えワークショップ」を仙台に誘致し、市長から国連防災世界会議の誘致について各国・地域の参加者に協力を要請。
- 9月10日 マルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表の仙台訪問にあわせ、2015年の国連防災世界会議の誘致を表明。

平成24年

- 2月10日 外務省局長が仙台市を訪問した際に、国連防災世界会議の仙台・東北での開催について協力を要請。
- 6月21日 市長が内閣府と外務省を訪問し、国連防災世界会議の仙台・東北への誘致について協力を要請。
- 7月3日 来仙したマルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表に、国連防災世界会議の仙台開催に向けた協力を改めて要請。世界防災キャンペーン申請。
- 7月3日 世界防災閣僚会議 in 東北（仙台市で開催）で、野田総理（当時）が国連防災世界会議の日本への誘致を改めて表明し、仙台市からも各国の代表者に対して国連防災世界会議の仙台・東北での開催に向けて協力を要請。
- 10月9日 世界防災キャンペーン「ロール・モデル都市」としてワルストロム国連事務総長特別代表より認定書授与。
- 10月9日 第67回国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会特別イベントとして「防災と開発に関する仙台会合」を仙台で開催し、市長が東日本大震災の教訓と防災の取り組みを世界に発信。
- 10月24日 インドネシアで開催された第5回アジア防災閣僚会議において、伊藤副市長が世界各国の代表団に対して、東日本大震災の教訓と防災の取り組みを発信し、国連防災世界会議の誘致を表明。ワルストロム国連事務総長特別代表と会談し、ポスト兵庫行動枠組についての議論について、基礎自治体からの考えを提言。
- 3月13日 第3回国連防災世界会議の開催誘致に向けた申請書を提出し、正式に立候補。
- 3月26日
～27日 政府による候補地の実態調査。

第4回防災グローバルプラットフォーム会合

兵庫行動枠組に基づく各国の防災の取り組みの進捗状況を確認するために、国連の主催により、隔年で開催される閣僚級会議。日本政府からも代表団を派遣し、次回開催都市等を発表する予定。仙台市は、国連が展開する世界防災キャンペーンの防災の「ロール・モデル都市」として市長が招待を受け、会議に参加して、仙台の防災の取り組み等を発信する予定。